



U.S.-JAPAN
COUNCIL

米日カウンスル渡邊利三寄付奨学金



アメリカ留学奨学金

返済不要

併用可能

奨学金について

渡邊利三寄付奨学金は、1学期間から1年間にわたる、アメリカへの留学を希望する日本人の大学生・大学院生に給付される財政援助です。2016年より、渡邊利三財団の渡邊利三会長が米日カウンシルに寄贈した1,000万ドルの寛大な寄付金を資金源とし、財政援助なしには留学ができない学生に奨学金を給付します。給付額は、申請者の経済状況および他の資格に基づいて決定されます。また、本奨学金は次世代のリーダーの育成を目的としており、奨学金の一環として、留学中に特別なリーダーシップ育成プログラムが行われます。



応募資格

*以下一部抜粋、詳細はウェブサイトでご確認ください。

1. 日本国籍、または永住権保有者
2. アメリカへの交換留学、または学位取得を目的とした留学をする
3. 留学するにあたって財政援助の必要性を証明できる
4. 【優遇】ひとり親世帯、家族の中で初めて大学へ進学する(ファースト・ジェネレーション)

※上記2について、応募時大学に申請中のため進学先が未定の場合、またはすでにアメリカで在学中の場合も応募可。ただし、語学留学は対象外。

応募方法

本奨学金への応募は、オンライン申請を通して行われます。応募時に下記の書類を提出してください。オンライン申請時の応募書類はすべて英語で記入してください。日本語での入力は受理できませんのでご注意ください。書類審査のみ、面接は予定していません。

- 志望動機書
- 英文履歴書
- 推薦状
- 留学課担当者による証明書*
- 学資金援助課担当者による証明書*
- 成績証明書(任意)

*指定の書式あり

奨学金スケジュール

- 11月～12月： オンライン説明会
1月中旬： 募集開始(オンライン申請)
2月下旬： 応募締切
6月上旬： 結果通知
7月上旬： 奨学金受諾期日・奨学金支給開始

※上記スケジュールは、予定です。今後変更となる可能性がございます。詳細はウェブサイトをご確認ください。

奨学金データ

- ・ 累計115名の奨学生を選出(2022年9月現在)
- ・ 専攻、大学問わず応募可能
- ・ 給付額は奨学生ごとに異なる



よくある質問

- Q.** 大学院留学や学位の取得を目的とした留学(アメリカの大学に、学位取得を目的として複数年にわたり在籍する場合)も応募は可能ですか。
- A.** 応募可能です。但し、本奨学金は最大1年間しか支給されません。翌年度の再応募は可能ですが、支給の保証がないことをご留意ください。
- Q.** 他の奨学金と併用可能ですか。
- A.** 可能です。但し、別途授与している奨学金が、金銭的に必要な学資援助を満たしていない場合のみに限ります。
- Q.** 奨学金が決定された場合、どのように受け取ることができますか。
- A.** 奨学金は学生個人の口座ではなく、日本の所属校、またはアメリカの在籍校に振り込まれます。



奨学金の特徴

- ・ 奨学金プログラムの一環として、奨学生が一堂に会するリーダーシップ育成プログラムに参加できる（参加費は奨学金とは別に、本プログラムより支給）
- ・ 米日カウンシル主催の行事やイベントなどに参加できる
- ・ あらゆる分野で活躍する、米日カウンシルメンバーとのネットワークが広げられる



米日カウンシルについて

米日カウンシルは、日米関係の強化に貢献すべく、太平洋兩岸の多様なリーダーを結集し、ステークホルダーとの交流の場を提供すると共に、コミュニティと政財界にとって有益な課題に取り組む、教育的非営利団体です。米日カウンシルは、国際的なネットワークを育み、様々な組織や団体の協力のもとプログラムを展開し、メンバーが日米の当該パートナーと触れ合う場を設けます。米日カウンシルは2008年に設立され、ワシントンDCに本部を置き、カリフォルニア、ハワイと東京にスタッフを置いています。

2012年には、TOMODACHIイニシアチブを支援するため、米日カウンシルージャパンが設立されました。2013年には公益財団法人に認定された米日カウンシルージャパンは、東京を本部としています。

お問い合わせ方法

本奨学金に関するお問い合わせは、下記メールアドレスまでお願いいたします。

watanabescholarship@usjapanccouncil.org

米国本部の担当者よりご回答申し上げます。
なお、お電話によるご質問は受け付けておりません。
何卒ご了承ください。

渡邊奨学金HP

